

●平成 31 年度当初予算編成に向けた知事メッセージ

平成 31 年度に向けて、いよいよ予算編成始まる。以下の点を踏まえながら、取り組んでほしい

来年度の施策構築をするにあたって、まず私たちが考えなければいけないことは、本県だけでなく世界で起こる進行中の不可避の変化への対応である。本県だけでなく、我が国、世界で起こる様々な変化を逃げず恐れず、前向きに捉えてチャンスとしていく、そういう気構えを以て来年度の施策構築ならびに予算編成に臨んでいきたい。

来年度、滋賀県では新しい基本構想をスタート。これまでにない長期展望、2030 年を展望して構想を描き、施策を作っていくという、今までとは少し違う取組をしている。また、新しい行政経営方針も併せて策定するので、これらを作ることで第一歩踏み出す。未来を見据えて着実な一歩を記（しる）す予算を作っていきたい、来年度、未来へ変わる滋賀、続く幸せみんなで作るという思いで、以下 5 つの事を重視した予算編成 を行いたい。

一つ目は、

一人ひとりの命と人権、防犯、防災、安全・安心、健やかさ、その人らしさを重視

条例も作るし、虐待や教育改革も力を入れているので、とりわけ、子どもや障害者の方々へのそういった施策をしっかりと進めていきたい。その際には、一人ひとりにしっかりと目を向けて進めていきたい。

二つ目は、琵琶湖、その源流である山、自然の生態系サービス

これは全ての基本になると思うので、これらをきちんと保全する、それらと両立する、そういった施策構築 をやっていきたい。

三つ目は、活力・発信力・持続力

これらはニーズオリエンテッド（顧客（県民）志向）でやりたい。産業、文化スポーツ、観光、交通、これらの施策を充実させたい。

四つ目は、未来と世界をしっかりと展望

SDGs の取組を単なる目標設定だけでなく、その進捗やその発信も含めて、しっかりと施策の中に埋め込んでいきたい。

最後五つ目は、県庁の組織の経営

これは、SHORC（ショルク）でいく。ショルクとは、

一つ目の S は、サステイナブル（持続可能な）、持続的な経営でありたい。

二つ目の H は、健康経営、ヘルシーな県庁組織を作りたい。

三つ目の O は、オープン。情報、データ、統計、公文書全てオープンでクリアーな県政を作りたい。

四つ目の R は、財政の持続性含め、消費税率に伴う景気変動に対応するという意味で、レジリエント（弾力性のある力強さ・しなやかさ・強靱な）な県政経営を進めていく

最後の C は、コラボレーション。県民の皆さま、あらゆる主体の皆さま方との協働をしっかりと作る、そういう予算なり組織体制、施策を構築していきたい。

これから予算編成をするに当たっては、少し作業が過密になったり、日頃の業務と中々対応が困難であったりすることもある。時間管理や健康管理しっかりやりながら、県民の皆さま方の期待に応えられる予算を作っていきたい。